

練馬・三鷹のまちづくりの現場を訪ねて



市民活動者とボランティアのための

IT学習会・中級編 / 超初級編

PJ まちづくりネットワーク応援隊



「練馬まちづくりセンター」で学んだこと

練馬区を中心街にある建物の1つに、「練馬まちづくりセンター」がまちづくりの拠点として入っています。そこでは専門スタッフによる活動支援や講座開催などを行っている聞き、「うらやましい」というのが第一印象でした。「都市計画マスタープラン」に基づいたまちづくりセンターの理念・機能・事業が明確に示されているので、区民にとってもセンターとの関わり方がつかみやすいのではないかと感じました。(久野 道子)

「三鷹市市民協働センター」で学んだこと

「三鷹市市民協働センター」は、市民と行政との中立的拠点として設立されました。施設は「NPO法人みたか市民協働ネットワーク」が運営しています。

センターの事務局長は、市からの出向で行政とのパイプ役になり、市民からは市職員としての安心感もあるようです。登録団体はさまざまな設備が利用でき、登録していなくてもボランティアならコピー機、印刷機などが自由に使えます。無料のスペースや時間貸しの会議室などもあり、多摩区にもこんな施設があったら良いなと感じました。(古川 紀代子)



「三鷹ネットワーク大学」で学んだこと

地域の知的資源とニーズを融合し、産学民公の協働による新しい「地域大学」を目指している「三鷹ネットワーク大学」では、事務局の大朝さんや森さんから大学の運営や講座の選定、実際の苦労話をお聞きしました。地域の特性を生かした天文学や、企業による無料ビジネス講座などで、年間受講者数は9,200人を超えるそうです。私たちまち協の「多摩★まち大学」を今後どのように取り組んでいくか考える上でも、大いに参考になりました。(本多 正典)



【参加者の声】
特定非営利活動法人
ぐらす・かわさき
塩沢 和美さん

今回の視察研修で特に印象に残ったのは、三鷹のネットワーク大学の活動です。最先端の学問を知りたいという市民の声から始まったそうですが、びっくりするような難解なテーマでも、多くの受講生が集まっているという話でした。三鷹市は市民と行政が一緒になってまちづくりをする歴史が古く、そうした積み重ねで市民力・行政力が高くなっているように感じました。

【参加者の声】参加女性

緑が多く残る、美しい地域環境が多摩区と良く似ている練馬区の取り組みは印象的でした。豊かな地域社会の実現を目指して、中間支援的な協働型まちづくり事業を実践している練馬まちづくりセンターの石川所長から、まちづくりに関する幅広い内容について学ぶことができ、今後の活動に大いに参考になりました。

11/23(水)

中級編「ホームページで情報発信」

「株式会社世田谷社」の市川徹さんを講師に迎え、参加者は21名でした。インターネット上に、無料で簡単にできるホームページ作りを見せていただき、参加者から「早速ボランティア活動に生かします。」という感想をいただきました。

市川さんの講義はとても分かりやすかったので、またIT学習会を開催するときは、講師をお願いしたいと思います。(池田 倫子)



中級編の講座風景

12/5(月)

超初級編「メールとインターネットとは」

超初級編では、講師として、「のぼりとゆうえん隊」の野仲将生さん、櫻井博朗さんをお招きし、20名近くの方々の参加がありました。

パソコンの知識のほとんどない参加者が多かったこともあり、大変有意義なIT学習会となりました。こういった交流の場をより多く作り、あらゆる世代の人に役立つ活動ができるよう、深めていくことが大切だと実感しました。(岡田 委久子)



右:講師の野仲将生さん
左:講師の櫻井博朗さん

プロジェクト活動進行中!

現在活動している3つのプロジェクトの直近の活動報告をします。

多摩の居場所ふらっと



10、11、12月は「ふらっと」の活動が最も活発な時期でした。若い世代とシニア世代をつなぐ橋渡しをしながら、「楽しい場づくりをしよう」という目的が少しずつ実を結びつつあるようです。



乳幼児もホットケーキづくり!

すかいきつずや菅こども文化センターでの乳幼児をもつ親とのお菓子づくり、シニア世代向けの「生活習慣病(がん)の予防と治療」勉強会、そしてわくわくプラザの小学生とクリスマスツリーづくりに熱中しました。参加された若いお母さんから「この子と二人きりで一日中家に居ることが多いが、今日は大勢の中に入れて楽しかった。同世代のお母さん、子育てを経験された方とお話ができよかったです。」との感想をもらいました。

まちづくりネットワーク応援隊



11月に中級編、12月に超初級編とレベルに応じて開催したIT学習会が、参加者には好評で、ぜひシリーズで続けてほしいという声を多くいただきました。さっそく次回の企画を練っています。お楽しみに!

多摩区の観光資源・地産地消のマップづくり



今年発行した「多摩農マップ」は、区役所はじめ、夏祭りや多摩川梨のイベントなど、区内外のさまざまな場所で配布し、大変なご好評をいただきました。現在は、掲載している写真や紹介している情報を見直した「農マップ」第2版の編集を進めています。また、まち協ホームページの開設に合わせて、「農マップ」を掲載する予定です。



安心して歳を重ねるために PJ 多摩の居場所ふらっと

身近な生活習慣病である、がんについて学ぶ

「生活習慣病(がん)の予防と治療」について、開業医でもある国保先生にお話をいただきました。食生活として玄米菜食を基本にし、抗酸化作用を有する食品(果物きのこ海藻など)を摂取することにより、がんの発生を抑えることが出来るということでした。参加者は身近な問題に熱心に聞き入り、「現医療に欠けているところをよくお話していただき、分かりやすかった。」と大変好評でした。(本多 正典)

【参加者の声】

がんの予防のみならず、日々の生活を元気に過ごすための示唆に富むお話を伺いました。「好きなことをして、ストレスをためない。玄米菜食の食生活の重要性」を、参加者のどんな質問にも気さくに答えてくださった講師の国保先生から教えていただきました。



講師の国保久光さん